

国分寺市「国分寺学」を通して育成する資質・能力の段階表

共通テーマ		地域に親しみ、地域に学び、地域を考え、地域に貢献する「国分寺学」の推進			
		小学校			中学校
目指す児童・生徒像		地域の特色等を系統的に学ぶことで、地域に親しみ、地域に学び、地域を考えることができる児童			自分たちを取り巻く環境や課題を理解するとともに、身近な課題を「自分事」ととらえ、改善、解決に向けた具体的な提案や行動を起こすなど、地域に貢献する生徒
学年 ※1「」内は中心となる活動		低学年 「地域に親しむ」	中学年 「地域に学ぶ」	高学年 「地域を考える」	中学校第1学年～第3学年 「地域に貢献する」
育成する 資質・能力	課題解決力	見たり、聞いたり、体験したことをまとめる。	自ら課題を設定し、解決するための方法を考える。	現代や未来における課題を地域のものとして考え、様々な方法で解決する。	自らの興味・関心に応じて調べ、探求していくことを通して、自ら課題を見つけ改善に向けた具体策を考える。
	コミュニケーション力・協働力	互いの意見を認め合い、友達と協力して、調べたことをまとめる。	他者(友達)の意見を聞くことで、共通点や相違点を出し合い、協力して課題に取り組む。	他者の意見を聞くことで、異なる視点からも物事を捉え、広い視野で物事を捉え、協力して課題に取り組む。	課題の解決に向けて、他者の意見と比較し、互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、積極的で具体的な取組を立案する。
	社会参画力	地域の一員であることに気が付く。	地域のために自分自身が何ができるかを考える。	これからの地域のために自分自身が何ができるかを考える。	・実際に地域に出て、課題を確認し、改善に向けた関係機関への提言や自ら改善に参画する。 ・地域への理解を深め、市民としてのアイデンティティを育む。
地域の特性を生かした 探究課題(例)	※具体的に共通して学習する内容を例示 (昔遊び、伝統文化体験、史跡学習、こくベジ、地域安全マップ作り、ハケ、赤米、恋ヶ窪分水等)	・「交通安全教室」通学路の歩き方を地域の警察官に学ぶ。(生活) ・「栗拾い」地域の栗畑所有者に話をしてもらう。(生活) ・「地域の公園に行こう」公共の公園の過ごし方を学ぶ。(生活) ・「七夕」地域の方から笹をもらう。(生活) ・「まちたんけん」地域の様子や公共施設を知る。(生活)	・「まちたんけん」地域の特徴を調べる。(社会) ・「夏野菜を育てよう」地域の方に畑での野菜の育て方を学ぶ。(理科) ・「地域安全マップ」地域の危険な場所などを調べる。(社会) ・「ごみの分別」ハイキーの方に来てもらい、ごみの分別の仕方を学ぶ。(社会) ・「地域の自然を味わおう」ハケについて調べてまとめる。(総合) ・「野川源流スクール」野川の現状と課題について調べてまとめる。(総合) ・「国際交流」ひかりプラザと協力をし、国分寺に住む外国の人から話を聞く。(総合) ・「手話体験」地域の手話サークルの方から手話を学ぶ。(総合) ・「リオン工場見学」地域の補聴器工場を見学する。(社会)	・「国分寺市の魅力を伝えよう」今の国分寺の良さを調べる。(総合) ・「国分寺市の未来」これからの国分寺市について考える。(総合) (元市長へのインタビューなど) ・鉄道総研による出前授業(総合) ・「国際交流」ひかりプラザと協力し、国分寺市在住の外国の人から話を聞く。(総合) ・「国分寺史跡見学」国分寺史跡やその周辺の様子を調べる。(社会・総合) ・「稲作」国分寺赤米プロジェクトの方から赤米の育て方について学ぶ。(総合) ・「野菜作り」地域の方から野菜の育て方を学ぶ。(総合・理科)	・「国分寺みらい科」を核として、社会や地域の問題を「自分事」ととらえ、小集団・個人の興味や課題意識に基づいた探究学習を推進する。(総合) ・「国分寺市調査」として、現地調査活動を通して、国分寺市についてまとめる。(総合) ・地域のボランティア活動に参加し、多様な他者と関わり、問題を発見し、課題解決力に向け具体的な行動を起こす力を育成する。(総合)

※1 どの学年においても「地域に親しむ→地域に学ぶ→地域を考える→地域に貢献する」ことを1つのサイクルとしており、「」内は各学年段階において中心となる活動を示している。

※2 特別支援学級の児童・生徒については、上記の内容を参考として、個々の児童・生徒の障害の状態に応じた内容を設定する。